

令和 6 年度 第 4 回江北町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和 6 年 9 月 26 日（木）14：00～14：30
- 2 場 所 公民館 2 階講座室
- 3 出席者 下表のとおり

【構成員】

番号	役 職	氏 名
1	町長	山田 恭輔
2	教育長	吉田 功
3	教育長職務代理者	浪瀬 隆一
4	教育委員	重松 亜須香
5	教育委員	溝口 泰弘
6	教育委員	田中 薫

【こども教育課・学校づくり推進室】

番号	役 職	氏 名
1	課長（兼室長）	本村 健一郎
2	課長代理	峯 清美
3	係長	稲富 俊介
4	係長	野田 あゆみ
5	主任指導主事	小宮 広明

【事務局：総務政策課】

番号	役 職	氏 名
1	副町長	山下 宗人
2	課長代理	小野 政己
3	係長	淵上 和剛
4	主査	古賀 元気

4 議題

教育諸課題解決に向けた今後の方向性について

○開会（小野課長代理）

○挨拶（山田町長）

○議題

【山田町長】

今後のイメージのすり合わせをしたい。

9月議会では、教育長からも教育行政の基本方針を説明していただいた。

特別委員会が開催され、議会側も基本的なところは了解していただいたと思っている。

議会としては、義務教育と関係なくしなければいけないことではないのかという感じだったが、結論的に言えば義務教育学校の検討は進めるが今までよりは緩めてでも目の前の課題を解決したい。

スケジュール的にいけば、中には来年度の予算に計上しないといけないものもあるが、3年後の目標を共有し、どういうことをやっていくかを決めなければならない。

そのため、10月1日付けで外部からも来ていただくことにした。

学力の向上で言えば、3年後にはこの教科はここまでなど具体的に決めていかなければならない。

部活の地域移行は、3年後には全部地域移行が済んでいることが目標だと思っている。

子どもの居場所づくりも課題としてあったが、具体的に決めていかなければならない。

施設についても、3年間でやっていくことを決める。

【浪瀬委員】

江北町は、スポーツのまち宣言をしているが、施設を有効活用できる状況が作れていない。

財源面や安全面もあるが、使えるようにすることが大事では。

【町長】

議会でも施設の話しは出た。

町のこれからを考えたときに、定期的にメンテナンスをしてでも使うかを決

めないといけない。

早めに目標設定をして動くようにする。

【溝口委員】

不登校児を抱える保護者が立ち上げて、集まって話しをする場を作っているところがあった。

同じ悩みを持たれている方と話し合いをした方が解決の道筋もできてくるのでは。

【町長】

他市町では、適応指導教室に相談機能まで付いているが、江北町にはそれ自体がない。

教育機会確保法ができ、学校に向かわせるというより、多様な学びの機会の提供になるのではないか。

話し合いの場が自然発生的にできればいいが、ある程度つなぐことは行政の役割としてあると思っている。

○閉会